



嬉野市立大野原小中学校

# 高原の風

令和4年10月3日 第9号

文責 校長 武藤 敏

学校教育目標

「かがやく大野原っ子の育成」

～ 新しいことに挑戦 様々な人との協働 社会に貢献 ～

☆ やる気いっぱい ☆ 笑顔いっぱい ☆ 元気いっぱい ☆ わくわくどきどきいっぱい

## 秋本番を迎えています。

10月に入り、秋を感じる事が多くなりました。学校前の畑では、小学校1、2年生が畑の整備をしていてくれました。秋の昆虫「コオロギ」を捕まえて、楽しく学習が出来ています。体育館の裏手には「栗」がたくさん実をつけて秋の味覚を楽しめるようになってきています。また、その横には、この季節にほのかに漂う甘い香りの金木犀が花を咲かせています。校庭のフェンスには、先日刈った稲が干してあり、季節を十分満喫できる大野原小中学校に感謝です。



## 読書の秋「第68回青少年読書感想文コンクールの地区審査会」

夏休みの課題として頑張った読書感想文コンクールの地区審査会がありました。大野原小学校からも入選した児童がいますので紹介します。

小2年「佳作」【田中 奏志さん】「ばあばにえがおをとどけてあげる」、

小3年「佳作」【前田 瞬哉さん】「この世界からサイがいなくなってしまう」、

小4年「入選」【田中 繁幸さん】「みんなのためいき図鑑を読んで」

小5年「佳作」【田中 唯翔さん】「人々を苦しめる病気」

「本」という漢字の成り立ちは「木の根元の部分に印を付けて「もと」の意味を示した」ものです。根は木を支える大切な部分で、成長するための水や養分を吸収するところです。木の成長にとって根は欠かせない大切なものですが、はるか昔から人間は「人の成長にとって大切なものは心の成長であり、その栄養となるものは書物である。」と考えられていたそうです。ですから、書物のことを「本」と書くようになったようです。読書は言語に関する脳の部位が発達するのに大きく役立っているそうです。多くの本と出合って、大いに心の栄養補給をしましょう。

## 嬉野温泉駅から初の修学旅行

9月29日、小学校5・6年生が、待ちに待った長崎市への修学旅行でした。また、23日に開通した嬉野温泉駅を利用して修学旅行に行く学校は県内で初めてだろうということで、「サガテレビ」の方に長崎まで同行取材をしていただきました。【放映は10月中旬予定です。】

真新しい駅舎に集合した子どもたちを出迎えてくれたのは「手湯」でした。嬉野の温泉を感じながら出発をして、初めての西九州新幹線を楽しんできました。



## 鹿児島県への修学旅行

9月28日、中学生にとって一番思い出となる修学旅行に、中2・3年生総勢7名全員で出発しました。「柳川」での川下り体験や知覧特攻平和会館で平和学習、熊本城の見学など南九州への2泊3日の旅です。出発前はやや緊張気味の様子でしたが、学校の仲間や先生方と一緒に過ごす貴重な体験を楽しみしている感じもありました。この修学旅行を経験して更に成長した姿をみせて欲しいと思います。



## 稲の大収穫「おつかれさまでした。」

今年は2度の台風に見舞われ、風や雨の影響で稲が倒されてしまいました。毎年、田んぼのお世話をいただいている朝日様の助言で、例年より早めの「稲刈り」を実施しました。夏の日差しが残る中、小学生1年生から6年生まで全員で全ての稲を刈りました。



6月6日(田植え)

子供たちも慣れたもので、手際よくさっさと稲を刈っていました。初めて稲刈りに参加した1年生も、稲を縛る紐を準備したりトラックに運んだりと元気に作業に参加することができました。この後、脱穀まで待つて、お米ができるのを待ちたいと思います。



9月22日(稲刈り)



## 9月30日校外学習

絶好の校外学習日和の中、大野原小中学校全ての児童生徒が校外へ出かけました。小学校5・6年生と中学校2・3年生は県外への修学旅行でしたが、その他の学年はそれぞれ、県内各地に出かけて見聞を広めてきました。心持ちいつもより笑顔が多かったように思いました。

○小学校1・2年生の校外学習の行程

学校～「シーボルトの湯」～「嬉野温泉駅」～「祐徳稲荷神社」～「道の駅鹿島」(水族館、干潟体験)～学校

○小学校3・4年生の校外学習の行程

学校～「六角川大橋」～「佐賀城本丸歴史館」～「佐賀県庁」～「佐賀市エコプラザ」～学校

○中学校1年生の校外学習の行程

学校～「佐賀城本丸歴史館」～「佐賀駅(電車)」～「吉野ヶ里歴史公園」～「江北駅」～「鹿島駅」～学校



ご意見・ご感想等ありましたらお寄せください。